

(臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体または通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名] 相同組み換え修復欠損に着目した希少がん子宮肉腫に対する
薬剤選択分子マーカーの探索における後ろ向き研究

[研究の目的] 希少がんである子宮肉腫は予後不良であり保険適応の薬剤が限られています。相同組み換え修復機能の欠損状態にある子宮肉腫がどの程度の頻度で存在するかを探索します。相同組み換え修復機能欠損に対する薬剤は既に保険承認されているため、子宮肉腫への新たな治療の選択肢に繋がることが期待されます。

[研究の方法]

対象となる患者さん

岡山大学病院バイオバンクに登録された子宮肉腫の患者さんでありかつ試料や情報の利用に対する説明同意を受けられている患者さんです。

利用する検体・診療情報

血清検体、病理標本検体、被験者番号、検体採取日、年齢、性別、基礎疾患、診断日、治療開始日時、臨床病理学的因子、転帰等である。

[外部への検体・診療情報の提供]

外部への検体・診療情報の提供はございません。

[外部からの検体・診療情報の提供]

利用する外部施設所持の検体・診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、郵送及び電子システムを使用して、下記の研究組織より本学へ提供されます。

[研究組織] 研究代表者

この研究は、香川大学の単独の研究として実施します。

< 研究機関及び研究責任者 >

香川大学医学部附属病院周産期科女性診療科 准教授 鶴田智彦

< 既存試料・情報の提供のみを行う施設およびその施設の提供責任者 >

岡山大学病院バイオバンク 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科
ヘルスケアサイエンス部門 森田瑞樹

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる

情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報を利用しません。

[連絡先・相談窓口]

<当施設の相談窓口>

住 所：香川県木田郡三木町池戸 1750-1

施設名：香川大学医学部附属病院周産期科女性診療科

担当者：鶴田智彦

電 話： 087-891-2174 FAX： 087-891-2175